

2023年3月10日

国立大学法人東京医科歯科大学
学長 田中 雄二郎 殿

東京医科歯科大学病院監査委員会

2022年度第2回東京医科歯科大学病院監査委員会結果報告書

東京医科歯科大学病院監査委員会規則に基づき、下記のとおり監査を実施しましたので報告いたします。

記

1. 監査日時

2023年2月27日（月） 15:00～16:00

2. 監査方法

病院の安全管理体制等について、病院管理者、医療安全管理責任者、医療安全管理部長、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者へのヒアリングを行った。

3. 監査対象期間

2022年4月1日 ～ 2022年9月30日

4. 監査内容

- ① 前回の監査結果に関するその後の進捗について確認を行った。
- ② 監査対象期間における医療安全管理業務に係る活動報告及び管理体制の確認を行った。
- ③ 事例1「右上2番を抜歯した事例」と事例2「腹部超音波検査中に蘇生が必要となった事例」について、概要と検討結果及び対応の説明を受けるとともに、質疑を行った。

5. 監査結果

- ① 前回の監査結果に関するその後の進捗について、良好に進んでいることが確認された。
- ② 監査対象期間における医療安全管理業務に係る活動報告及び管理体制について、適切に活動及び管理されていることが確認された。
- ③ 事例1「右上2番を抜歯した事例」と事例2「腹部超音波検査中に蘇生が必要となった事例」について、ともに院内の検討や対応が良く行われていることが確認された。引き続き、比較的軽度の手術や検査等においても特定機能病院に対する患者意識を理解して取り組むとともに、誤抜歯を防ぐ体制の向上及びハイリスク患者に対する検査のあり方の検討を進めてほしい。
- ④ 全体を通じて、医系診療部門と歯系診療部門ともに重大な事例はないこと、また、病院一体化による統合組織で両部門の事例を適切に扱っており、医療安全の管理体制がより向上していることが確認された。医療安全のあり方について、医科と歯科では必ずしも同じではない面もあるため、異文化の相互理解を深め、より洗礼された体制の構築に繋げてほしい。また、医療法と感染症法の改正において、病院―地域の機能分化及び連携強化が求められており、ACPや臨床倫理の共有を含めた患者支援を進めてほしい。

以上